二千年の

1 情熱の物語のはじまり

●1947（昭和22）年、千葉市検見川の落合遺跡から出土した丸木舟とともにハスの果托が発見されました。

●この時から、現・東京大学で古代ハスの研究をしていた植物学者、大賀一郎博士の古代ハスの発見・開花を目指した情熱の物語が始まりました。



※果托：ハスの花の中にある種が出来るところが、花期を終えて花びらが無くなった状態

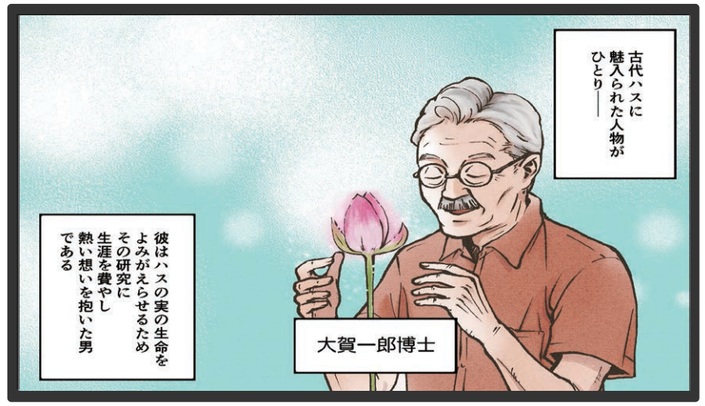


マンガ出典：
千葉市制100周年記念漫画
「百の歴史を千の未来へ」より



大賀一郎博士

1883（明治16）年～1965（昭和40）年。オオガハス、ハスの開花音などハスに関する幅広い研究を続けました。オオガハスの発見によりハス博士と言われるようになりました。



「果托があるならハスの実もあるに違いない」

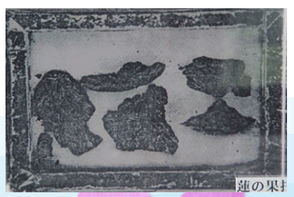
千葉市制100周年記念漫画
～時を超え、情熱が咲かせた奇跡の花　オオガハス～
上映時間：6分20秒



千葉市検見川から出土した丸木舟　写真：千葉市郷土博物館 蔵

●約2500年前の丸木舟とともに発見されたハスの果托には実がありませんでした。

●大賀博士は「果托があるならハスの実もあるに違いない」と確信し、検見川の発掘が始まりました。



出土したハスの果托には実がなかった　写真：千葉市郷土博物館 蔵

G-2　H2350×W2236

時を超え情熱が咲かせた

2 古代ハスの発掘



難航する発掘作業

●1951（昭和26）年3月3日、大賀一郎博士は、発掘のために集まった地元の小・中学生、一般市民などの多くの人たちとともに、千葉市検見川にある「落合遺跡」の発掘調査を行いました。







発掘の様子　写真：千葉市郷土博物館 蔵

●落合遺跡は湿地のため、少し掘ると水がたまります。ポンプで排水しても、翌朝にはまた水がたまってしまいます。

●毎日十数人の研究者が農場に宿泊し、作業員約25人、児童・生徒約40人が毎日働きました。

●発掘作業はなかなか進まず、1週間の予定が1か月にもなりました。

3 古代ハスの発見



ハスの実を探して泥をふるう子供たち　写真：千葉市郷土博物館 蔵



中学生徒

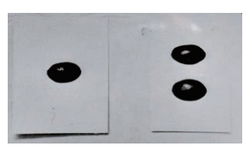


小学児童

3月30日、ついに古代ハスの実を発見！



●3月30日の夕方、花園中学校の生徒、西野真理子さんによって地下約6mの泥炭層から、ハスの実が1粒発見されました。さらに4月6日に2粒のハスの実を発掘しています。



発掘された古代ハスの実　写真：千葉市郷土博物館 蔵



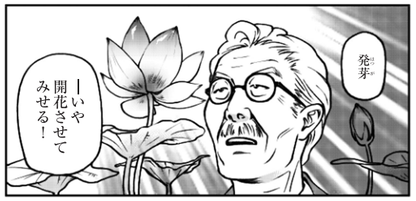
発見時の集合写真



G-3　H2350×W2236

奇跡の花、オオガハス

4 古代ハスの発芽



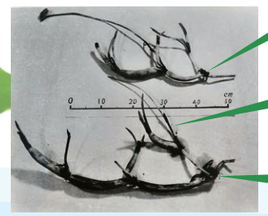
発見された3粒の実のうち1粒が成長

●1951（昭和26）年5月6日に大賀博士宅（東京都府中市）で発芽実験が行われましたが、3粒の実のうち2粒は枯れてしまいました。

●残された苗は千葉県農業試験場で栽培され、9月末には8枚の葉がでて蓮根が順調に成長しました。



1952（昭和27）年4月、大中小3本の蓮根を掘り上げる

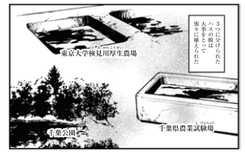


写真：千葉市郷土博物館 蔵

- 蓮根（中）3節40cm 千葉公園へ
- 蓮根（小）2節20cm 千葉県農業試験場へ
- 蓮根（大）4節60cm 東京大学検見川厚生農場へ

5 古代ハスの成長

蓮根は3か所で栽培される



●蓮根は東京大学検見川厚生農場内、千葉公園の弁天池、千葉県農業試験場の水田の3か所で栽培されました。

厚生農場の蓮根を地元の伊原氏に委託



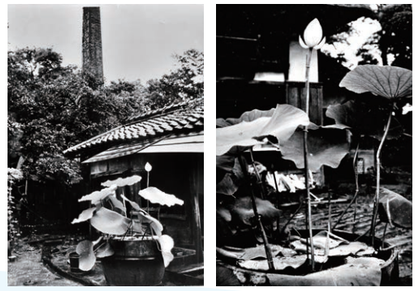
●厚生農場の蓮根は動物に食べられる心配があり、地元で農業委員を務める伊原茂さん宅に植え替えられ、細心の注意を払って栽培されました。



古代ハスは伊原茂氏宅で鉄製の大釜に田土を入れて栽培された

1952（昭和27）年、古代ハス、ついに開花する

●7月1日、伊原さんの自宅で丹精込めて育てた古代ハスに1本目のつぼみができ、14日には2本目のつぼみも出てきました。古代ハスが開花の時を迎えたのです。



写真：千葉市郷土博物館 蔵

G-4　H2350×W847

6 古代ハス 二千年目の開花

開花１日目（1952年7月18日） 太古の眠りから目覚める



第一花を観る大賀博士と伊原氏　写真：千葉市郷土博物館 蔵

●古代ハスは1952（昭和27）年7月18日から21日にかけて、4日間見事に開花しました。

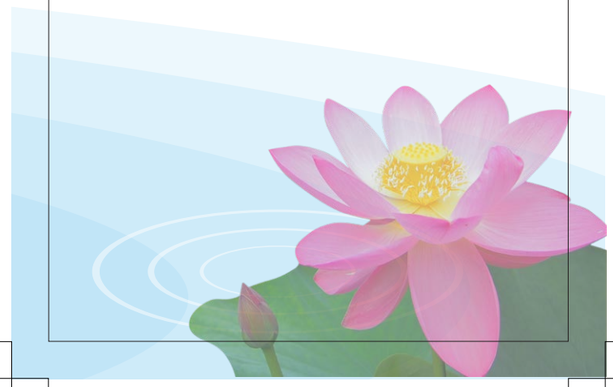
●眠りから覚めた太古のハスは全体の姿をあらわし、大賀博士や発掘にかかわった多くの人々に感動を与えました。

開花２日目（1952年7月19日） 全体の姿をあらわした古蓮の花



写真：千葉市郷土博物館 蔵

●千葉公園では1953（昭和28）年8月5日に、千葉県農業試験場では1955（昭和30）年に開花しています。



G-5　H2350×W847

7 千葉市から世界に広がるオオガハス



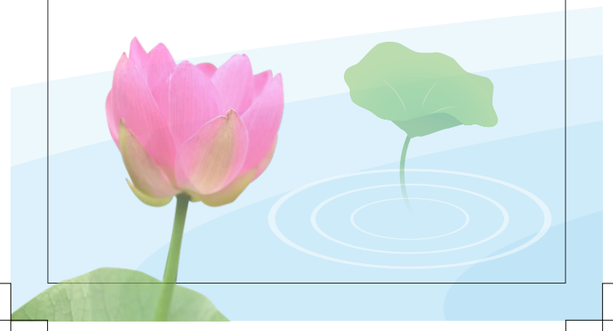
オオガハスのタイムラプス映像（花の12時間撮影）
上映時間：2分06秒

「LIFE」1952年11月17日号
（1952年7月19日　三原淳氏撮影）
1953（昭和28）年

オオガハスは海外でも報道（ほうどう）されました。
「LIFE」誌（し）に紹介（しょうかい）された記事

The Oldest Flower. Buried 2000 years lotus seed finally gets chance to bloom.
（世界最古の花。二千年間埋もれていたハスの実が、ついに咲いた。）

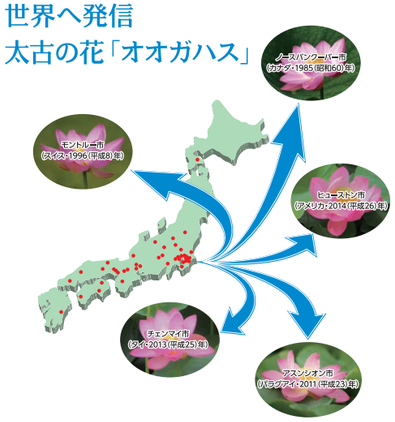
西ドイツのハンブルグ国際園芸博覧会
1953（昭和28）年
写真：千葉市郷土博物館 蔵



千葉公園には

8 蓮は平和の象徴なり

世界へ発信 太古の花「オオガハス」



●オオガハスはおよそ245か所の地域や国で栽培されています。

【国内】228か所
【海外】17か国
ドイツ、アメリカ、中国、韓国、カナダ、スイス、パラグアイ、タイ、シンガポール、オーストラリアなど。

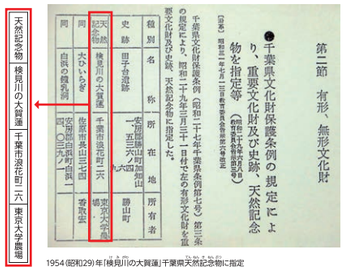
※令和4年4月1日時点

平和と友好の使者「オオガハス」

●古代ハスは「オオガハス(大賀ハス)」と名付けられ、世界中に紹介されました。大賀博士は「蓮(ハス)は平和の象徴である」として、世界にオオガハスを広めました。



大賀博士が好んで書いた言葉書「蓮ハ平和の象徴也」



1954(昭和29)年「検見川の大賀蓮」千葉県天然記念物に指定

大賀博士とオオガハス年表

1883(明治16)年	大賀一郎博士は岡山県岡山市(旧吉備町)に生まれる。
1905(明治38)年	東京帝国大学理科大学植物学科に入学。
1909(明治42)年	東京帝国大学理科大学植物学科を卒業し、大学院に進む。
1917(大正6)年	南満州鉄道会社に入社し、南満州で古蓮実を採集し研究を始める。
1923(大正12)年	米国ジョンズ・ホプキンス大学へ留学する。
1927(昭和2)年	東京帝国大学から学位論文「南満州フランテン産の生存古蓮実の研究」によって理学博士となる。
1935(昭和10)年	上野不忍池にて「ハスの開花音」の公開実験を行う。
1950(昭和25)年	関東学院大学教授となり、千葉県滑川(現成田市)出土の古代ハス(推定1200年前)の発芽実験に成功するが、数日後に枯れる。
1951(昭和26)年	千葉市検見川の東京大学検見川厚生農場の泥炭層で古代ハスの実(推定2000年前)を3粒発掘する。5月、その発芽に成功し、3月30日発掘の実から育てた苗が生育する。
1952(昭和27)年	7月18日、伊原茂宅で古代ハスが初めて開花する。11月17日、米国『LIFE』誌に掲載される。
1953(昭和28)年	西ドイツのハンブルグ国際園芸博覧会に、古代ハスの蓮根4株を空輸。8月23日、同会場で開花する。
1954(昭和29)年	古代ハスが「検見川の大賀蓮」として千葉県天然記念物に指定される。
1961(昭和36)年	大賀博士にハス等の研究により「紫綬褒章」を贈られる。
1964(昭和39)年	検見川の古ハス発掘地に「大賀ハス記念碑」が建つ。
1965(昭和40)年	東大病院にて死す。82歳　勲三等瑞宝章が授与される。


上野不忍池にて「ハスの開花音」の公開実験


発芽した古ハスの実
3個のうち1個はすぐ枯死


1952年古代ハスが初めて開花
写真:千葉市郷土博物館 蔵


1964年、大賀ハス記念碑の除幕式

二千年前のハスが

9 千葉公園のオオガハス



千葉公園のハス池(昭和40年代)　写真:千葉市中央・美浜公園緑地事務所提供



展望台のハス池　写真:千葉市中央・美浜公園緑地事務所提供

●1967(昭和42)年ハスの生育改善のため、土の入れかえを行う。

●1968(昭和43)年軟腐病(腐敗病)により、ハスの生育がおとろえる。
200株の蓮根を掘りおこし池の完全消毒を行う。

●1970(昭和45)年オオガハス、再び開花する。

軟腐病(腐敗病):細菌による病害で、細菌が繁殖し、導水分の通り道を塞いでしまうため、地上部はしおれ、地際も腐って溶けたようになって悪臭を放ちます。

千葉公園に新たなハス池と蓮華亭を整備

●千葉公園で1993(平成5)年、新たなハス池が、1994(平成6)年には蓮華亭が完成しました。



空からながめるオオガハス♪　360°動画
上映時間:3分12秒

ちはなちゃんと歩こ♪　360°動画
上映時間:1分45秒

スマートフォンでバーチャルリアリティ画像が楽しめます。



綿打池の隣に整備されたハス池(900㎡)



ハス池北側に新築された蓮華亭(展示ホール、デッキ等384㎡)



咲いています



10 オオガハスの開花

開花１日目（とっくり型）

●早朝4時から6時ごろより開きはじめ、つぼみの先が4～5cmほど開花すると、それ以上は開かず、10時ごろ元のつぼみの状態にもどります。雄しべが花托に密着し、花粉はまだ放出されません。



開花２日目（おわん型）

●早朝4時ごろから開き始め、朝7～9時ごろまでに全開します。この時の花が最も美しく、花の色が一番鮮やかです。花托も黄金色に輝き、雄しべからの香りが最も強い時です。



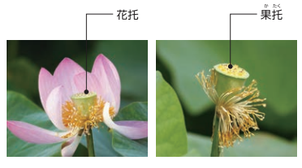
開花３日目（さら型）

●早朝4時ごろから開き始め、朝7～12時ごろまでに全開します。花の大きさが最大になります。花托のめしべは受粉して柱頭が黒くなります。開花が2日目か3日目の花かを見分けるには、柱頭を見れば分かります。



開花４日目（花托）

●朝8時ごろまでにほぼ開ききります。花の退色がさらに進み、雄しべが乱れてきます。11時ごろから花弁（花びら）が散りはじめます。



11 オオガハスの四季



オオガハスの分根作業　上映時間：1分56秒

オオガハスの魅力

オオガハス何でも情報館

春

●千葉公園のハス池では、4月中旬頃には浮葉が現れ、5月下旬に花のつぼみが水面に現れます



夏

●ハス池は6月上旬に開花が始まり、6月下旬から7月上旬に開花の最盛期をむかえます。そして8月半ば過ぎに花を終えます。



秋

●花が終わる初秋になると地下茎が伸びるのが止まり、太くなってレンコンになります。
●11月になると、立葉が枯れ始め、12月に刈り取ります。



冬

●軟腐病（腐敗病）予防のため、ハス池は冬でも水を張ります。
●翌年の春、3月ころにレンコンを掘り上げて植えかえます。



写真：千葉市中央・美浜公園緑地事務所提供

オオガハスのイベント情報